

平成 25 年 3 月 13 日

各 位

会 社 名 オイシックス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 高 島 宏 平
(コード番号：3182 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役執行役員 長谷川 哲也
管理本部本部長
(TEL. 03-5447-2688)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 25 年 3 月 13 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。

なお、当社の業績予想は以下のとおりであり、また最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【単体】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	平成 25 年 3 月期 (予想)			平成 25 年 3 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 24 年 3 月期 (実績)	
		構成比	前年比	構成比	構成比			
売上高		14,350	100.0	113.8	11,198	100.0	12,609	100.0
営業利益		661	4.6	114.2	566	5.1	579	4.6
経常利益		658	4.6	110.3	574	5.1	596	4.7
当期(四半期)純利益		404	2.8	121.9	352	3.1	331	2.6
1株当たり 当期(四半期)純利益		86円08銭			76円45銭		74円38銭	
1株当たり配当金		—			—		—	

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表を作成しておりません。
2. 平成 24 年 3 月期(実績)及び平成 25 年 3 月期第 3 四半期累計期間(実績)の 1 株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。平成 25 年 3 月期(予想)の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数(500,000 株)を含めた予定期中平均株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(最大 105,000 株)は考慮しておりません。
3. 平成 24 年 11 月 12 日付で株式 1 株につき 4 株の株式分割を行っております。上記では、平成 24 年 3 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成 24 年 3 月期(実績)及び平成 25 年 3 月期第 3 四半期累計期間(実績)の 1 株当たり当期(四半期)純利益金額を算定しております。

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年3月13日

上場会社名 オイシックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3182 URL http://www.oisix.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 長谷川 哲也 TEL 03-5447-2688
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,198	—	566	—	574	—	352	—
24年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり	潜在株式調整後
	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	76.45	—
24年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は平成24年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年3月期第3四半期の数値及び平成25年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は平成24年11月12日付けで、普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。このため、平成25年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が当事業年度の期首に行われたものとして記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	4,645	2,183	47.0	449 07
24年3月期	3,401	1,531	45.0	343 08

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,183百万円 24年3月期 1,531百万円

- (注) 当社は平成24年11月12日付けで、普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。このため、1株当たり純資産は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものとして記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,350	13.8	661	14.2	658	10.3	404	21.9	86.08

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無
2. 当社は平成24年11月12日付けで、普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。このため、1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	4,863,200株	24年3月期	4,463,200株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	－株	24年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	4,613,018株	24年3月期3Q	4,463,200株

(注) 当社は平成24年11月12日付けで、普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものとして記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) セグメント情報等	6
4. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要関連を背景に緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州債務危機問題や新興国の景気減速による世界経済の停滞や、近隣国との関係悪化による経済への影響が懸念される状況が継続いたしました。一方で、年末にかけてデフレ脱却を中心とした政府の経済再生に向けた積極的なアナウンスとそれに伴う為替相場の円安方向への変動などにより、一部に明るい兆しも見られる状況にあります。

当社の主たる事業領域である安全性に配慮した食品業界を巡る動きとしては、福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能汚染問題を受け、食品の安心・安全に関する消費者の意識は引き続き高い状況にあります。

E C業界を巡る動きとしては、大手E C事業者や大手流通企業が相次いでいわゆるネット・スーパー事業強化の方針を表明するなど、食品E Cの将来性により一層注目が集まるとともに、スマートフォンやタッチパネル式端末の本格的普及により、E Cを取り巻く環境も刻々と変化しております。

このような環境を背景に、当社では、引き続き放射能検査体制の強化など顧客に提供する商品の安全性確保に向けた取り組みを強化してまいりました。また、豊富な潜在顧客データベースを有する事業者との連携強化を模索するなど新規顧客獲得に注力するとともに、既存顧客へのサービス価値向上に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は11,198,964千円となりました。利益面では、営業利益は566,335千円、経常利益は574,036千円、四半期純利益は352,658千円となりました。

販売経路（事業区分）別の概況は、次のとおりであります。

[E C事業]

インターネットを通じて主に食品・食材の直販を行うE C事業においては、主力サービスである定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数が、前事業年度末（平成24年3月末）の75,829人から、当第3四半期会計期間末（平成24年12月末）には74,640人となり、おおむね横ばいで推移しました。

また、花や食品を中心としたギフト商品の強化を目的に、平成23年11月に買収（完全子会社化）した株式会社ウェルネスを平成24年4月1日付で当社に吸収合併したことにより、ウェルネス事業部門の売上高がE C事業の売上高に含まれることとなりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間におけるE C事業の売上高は10,225,271千円となりました。

[その他事業]

その他事業においては、チラシを利用した乳販店等を通じた通販事業や、恵比寿店・二子玉川店の2店舗にて展開している実店舗事業に加え、株式会社ウェルネスの吸収合併により引き継いだノベルティ販売等の法人向け事業の強化を図りました。

これらの結果、当第3四半期累計期間におけるその他事業の売上高は973,692千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して1,244,039千円増加し、4,645,717千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ998,339千円増加し、3,544,155千円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加813,026千円、商品及び製品の増加137,057千円、未収入金の増加48,186千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ245,700千円増加し、1,101,562千円となりました。これは主に海老名物流センター移転等に係る有形固定資産の増加287,820千円、無形固定資産の増加140,836千円、株式会社ウェルネスの吸収合併に係る関係会社株式の減少等に係る投資その他の資産の減少182,955千円によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較して591,381千円増加し、2,461,807千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ579,044千円増加し、2,371,160千円となりました。これは主に買掛金の増加697,224千円、未払金の増加124,418千円、未払法人税等の減少208,176千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ12,337千円増加し、90,647千円となりました。これは主に資産除去債務が22,376千円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して652,658千円増加し、2,183,910千円となりました。これは、株式発行による資本金及び資本準備金の増加300,000千円、利益剰余金の増加352,658千円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当事業年度（平成25年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高14,350百万円、経常利益658百万円、当期純利益404百万円を見込んでおります。今後業績予想の修正が必要と判断された場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
重要性がないため、記載を省略しております。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	828,708	828,329
受取手形及び売掛金	1,303,408	2,116,434
商品及び製品	136,227	273,284
原材料及び貯蔵品	2,193	6,376
未収入金	231,588	279,775
その他	102,637	100,864
貸倒引当金	△58,948	△60,910
流動資産合計	2,545,816	3,544,155
固定資産		
有形固定資産	250,817	538,637
無形固定資産	165,052	305,888
投資その他の資産	439,991	257,035
固定資産合計	855,861	1,101,562
資産合計	3,401,677	4,645,717
負債の部		
流動負債		
買掛金	825,363	1,522,588
未払金	413,413	537,832
未払法人税等	221,306	13,130
ポイント引当金	119,871	123,052
その他	212,160	174,556
流動負債合計	1,792,116	2,371,160
固定負債		
資産除去債務	23,636	46,012
その他	54,672	44,634
固定負債合計	78,309	90,647
負債合計	1,870,425	2,461,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,300	474,300
資本剰余金	79,200	229,200
利益剰余金	1,127,752	1,480,410
株主資本合計	1,531,252	2,183,910
純資産合計	1,531,252	2,183,910
負債純資産合計	3,401,677	4,645,717

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	11,198,964
売上原価	5,843,035
売上総利益	5,355,928
販売費及び一般管理費	4,789,593
営業利益	566,335
営業外収益	
受取補償金	7,405
その他	12,143
営業外収益合計	19,548
営業外費用	
株式公開費用	10,672
株式交付費	1,050
その他	125
営業外費用合計	11,847
経常利益	574,036
特別損失	
抱合せ株式消滅差損	42,670
その他	7,500
特別損失合計	50,170
税引前四半期純利益	523,866
法人税、住民税及び事業税	153,539
法人税等調整額	17,668
法人税等合計	171,207
四半期純利益	352,658

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年9月20日付で、株式会社リクルートから新株予約権の権利行使による払込みを受けました。この結果、当第2四半期会計期間において資本金が150,000千円、資本準備金が150,000千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が474,300千円、資本準備金が229,200千円となっております。

なお、株式会社リクルートは、平成24年10月1日に株式会社リクルートホールディングスに商号変更しております。

(5) セグメント情報等

当社の事業は消費者向けに主に食品の宅配を行うEC事業とその他事業から構成されておりますが、EC事業の売上高、営業利益および資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益および全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、EC事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社は、生産を行っておりませんので生産実績は記載しておりません。

②受注状況

当社の事業は、最終消費者へ直接販売する小売業であり、当該事業は多品種の商品を仕入れてから販売するまでの期間が極めて短期間のため、受注状況の記載を省略しております。

③販売実績

当社の第3四半期累計期間における販売実績を販売経路別に示すと、以下のとおりであります。

事業部門別	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同期比 (%)
EC事業売上高(千円)	10,225,271	—
その他事業売上高(千円)	973,692	—
合計(千円)	11,198,964	—

(注) 1. 上記金額には消費税は含まれておりません。

2. その他事業売上高には商品売上のほか、業務受託売上・広告売上等が含まれております。